

No-31

「気密性能が劣化すると外の音が大きくなる

1月18日の仙台は、夕方吹き出した風は夜半から明け方にかけて台風並みの強い風が吹き荒れました。翌朝、向かいの家の旦那と会ったら「夕べの風はさすがに眠れなかったね」と挨拶されたくらいです。

私はといえば、2年前全面的に高断熱高气密に改修したお陰で、普段から外部の音についてはほとんど遮断状態でしたから眠れないことはありませんでしたが、それでも今日の風は相当強いと感じました。

そこでふと思い出したのがお隣多賀城市のFさん。昨年Q1.0住宅として完成したのですが、気密性能に異変を感じたと秋にメンテナンスしたと聞きました。症状は「以前より外部の音が聞こえるようになった」ことから、どこか開いているのではないかと思ったのだ。特に車が通るときの音は明らかに大きく聞こえたそうです。

原因はサッシで南面のテラス戸、ドレイキップ窓の気密材に異常が見られ、早速メーカーに連絡、気密パッキンを取り替えこの冬を迎えたという一件です。

実際そのまま暮らしていたらどうなるか、一番考えられることは過乾燥でしょう。そういう隙間があると必要以上に換気され、室内はどんどん乾燥してゆきます。かつて、過乾燥を訴えた住宅に行き調べてみたら玄関ドアが反っていて手に感ずる風がすーすー入っていてそれを直したら大幅に改善されたという話もあります。

目下私の心配は天窗ベルックスの気密性能劣化です。夏対策として全部で3ヶ所電動開閉タイプの天窗を付け、昨夏もそれを駆使して今や天窗なしでは暮らせないほど「涼しさのコツ」に浸っています。

その窓にちょっとした異変を感じているのです。この頃しまりが弱くなっているのではないかと……？

ずいぶん回数開閉させているからあり得ることです。

ベルックス社に早めに確認しておこうと考えている昨今です。

2010/02/02



夏は、夏専用の換気扇とセットで天窗をフル活用。この窓の電動耐用を心配している。

No-32 断熱リフォームでクレーム

25日の月曜、ユーザーから3件の電話があった。先週末、朝日新聞の東北6県各県内版で省CO2への取り組みという特集が生まれ、新住協のことが記述されたことから当会を知ったのだと思う。いずれも主婦、年齢は50代。

その内の一つ「昨年、NEDOの補助を受けて、窓と1階の壁、2階の天井を断熱リフォームした。今年、冬になって玄関やトイレの結露がひどく、そのあたりは寒い。2階の窓はもっとひどい結露で天井にはシミが出来たような気がする」とのこと。

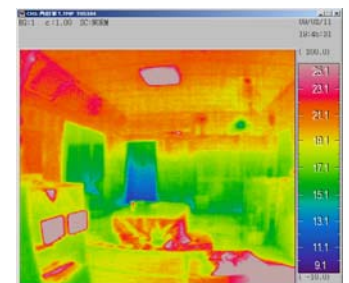
2階の壁は何もせず、窓もそのまま(ガラスは単板)なので、2階の部屋にはキチッとドアを付けて貰ったとのこと。

そして「どうしてこうなったのか？ 住宅のエコポイントを知ったので今年2階の窓を取り替えたいと思うが、今の問題を解決する方法があるか」概ねこういう内容だった。

この問題、今度の断熱リフォームエコポイントで一番予想されるトラブルではないだろうかユーザーには「NEDOを使ったのに・・・」という心理もある。

キチとした断熱リフォームをするには、それ相応の施工が必要だが、エコポイント対象は対処療法的処置でいいわけで、今回のようなトラブルも十分予想される。(寒冷地では特に)決定的な欠けているのは換気と暖房であろう。特に換気は、ちゃんとした断熱気密施工ができた住宅ほど、必要不可欠で、なかったら確実に何か異変が生ずるはず。常時換気の習慣がないだけに、そういう処置の必要性を普及させなければならないと思う。

「水は方円の器に従う」というが湿気も同じ。悪いことに、湿気は姿も見せずに、絶対湿度の平等を求めて上下左右どこへでも、紙でも木でも通してゆくから質が悪い。天敵は温度と乾いた空気。冗談ではなく、そんなイメージをもって丁度いい位じゃないでしょうか。



断熱リフォームでは、before afterでこのくらいの違いを出したい。畳表面の温度が5℃(上)が16℃(下)勿論、改修後は暖房も設備されている。
* 一昨年全面改修した福島の家